いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報そえだ

Soeda Public Relations

OCT.2026

10

No.780

いってらっしゃい 今日も元気に、安全に
地域で見守る 子どもたちの通学路

９月21日から30日まで、秋の交通安全県民運動が行われました。初日には道の駅歓遊舎ひこさんで交通安全キャンペーンが行われ、ながらスマホや飲酒運転の防止を呼びかけました。また、期間中は添田小・中学校付近の交差点で、子どもたちの見守り活動も行われました。

９月からは道路交通法の改正により、生活道路の速度制限が時速30キロに変わりました。運動期間が終わっても、思いやりのある安全運転を心がけましょう。(詳細は8ページ)

久保田町長が掲げる
6つの重点施策

すきな添田に「て」をくわえ すてきな添田へ

8月22日から始まった久保田町政。数ある課題と向き合い、住民の皆さんと一緒に「て」を加えながら、すきな添田をすてきな添田へブラッシュアップしていくため、9月議会で発表した所信表明の概要と、選挙で公約に掲げた6つの重点施策を紹介します。

第33代添田町長
久保田　実生

昭和50年３月12日生。九州大学卒。平成18年から令和４年まで添田町議会議員を４期16年間務め、議会広報常任委員会委員長などを歴任。８月22日から第33代添田町長に就任。好きな言葉は「がんばらないけどあきらめない」、「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」

町長として 3つの役割を胸に

7月12日に行われた添田町長選挙において、住民の皆さんから負託を受け、8月22日に第33代添田町長に就任いたしました。任期の4年間、住民の皆さんのために、町のために、全力で頑張ってまいります。

町長には、3つの役割があると考えています。

▼住民の代表としての町長
▼行政のトップとしての町長
▼歴史をつなぐ者としての町長

この3つの役割を胸に刻み、町政を担っていく所存です。

「あなた」と「私」でつくる 4年後の添田町

添田町を取り巻く環境は、大きく変化しています。人口減少や高齢化、担い手不足、財政的な制約、公共交通の減少など、これまで当たり前だった暮らしや仕組みを維持していくことが難しくなってきています。

しかし、変化を恐れるのではなく、これまで大切にしてきたものは守りながら、時代に合わせて変えるべきものは変えていくことが必要です。住民の皆さんとの対話を重ね、一緒に考えながら、未来の添田町づくりを進めていきます。

添田町は現在、第6次総合計画に基づき、2030年に向けて「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」を目指しています。その合言葉が「みんなでまちづくり」です。

では「みんな」とは誰なのでしょうか。私がこの言葉を使うときは目の前にいるあなたと私を意識しています。一人でも多くのあなたと一緒によりよい町をつくっていきたいと思っています。「こうしてほしい」という声を聴き、「こんなことをやってみたい」というコトバをカタチにできるよう行政としてサポートしていきます。

4年後には、「私たちはこんな町にしたい」「こんなことに挑戦したい」という声が今よりも多く聞こえる、そんな添田町にします。そんなあなたと私が増えていくこと。それが私の考える「みんなでまちづくり」です。

未来を見据えた 3つの事業

今年度は、これまで進めてきた事業を基本的に継続します。その中でも、特に3つの事業については、新たな対応を加えて取り組みます。

▼安心して使える水道事業へ

水道ビジョンの改定により、今後の厳しい見通しが示されました。専門家の助言を受けながら、将来にわたり安心して利用できる水道のあり方を検討していきます。

▼健康・子育て福祉ゾーンの検討

子育てや福祉を支える拠点づくりは、福岡県が行う土砂災害警戒区域の調査結果を踏まえ、場所の選定を進めます。必要な施設整備については、今後も継続して検討していきます。

▼公共施設のこれからを考える

人口減少を前提に、必要な機能をどのように残していくのか。公共施設のあり方を見直し、将来につながる計画づくりを進めます。

みんなでつくる 花火大会へ

今年度の花火大会は開催を見送ることにしました。見送りの理由は、財政面と開催体制の課題です。これまで活用していた財源が使えなくなり、費用を町のだけで負担することは難しい状況でした。

また、協賛などを含めた新たな運営体制づくりも整わないまま、開催時期が過ぎました。来年度は「みんなでまちづくり」を実感できるような、町民の皆さんと一緒につくる花火大会を目指します。

対話から始まる これからのまちづくり

町長と議会は、それぞれ役割や立場は異なります。

しかし、目指すものは「よりよい添田町をつくること」です。議会には、町の未来について十分に議論いただき、良いものは良い、課題があるものは課題として、率直な意見をいただきたいと思っています。

私自身も、議会や町民の皆さんの声に耳を傾け、対話を重ねながら、未来の添田町づくりに取り組んでまいります。

住み続けられる添田

子ども、若者、高齢者が安心して暮らし続けられる添田へ

施策1 ▷先進事例を参考に”こどもまんなか”の学校づくりを進めます ▷空き家・空き地の利用率アップを目指し、住み慣れた添田での安心した暮らしや、将来の住まいの整理を考える「終活セミナー」を定期的に開催します

町内で仕事とお金が回る添田

農林業、商工業、観光を町の仕事につなげ、地域経済循環を高めます

施策2 ▷農業の新しいビジョンを農家の皆さんと一緒につくり、稼げる農業を目指します ▷森林を守りながら、森林が持つ価値を新たな収入源につなげます ▷地元事業者を守る、事業継承支援などのしくみづくりを進め、小さなチャレンジ(起業)を応援します

地域で支え合える添田

人口減少を前提とした支え合いのしくみづくりを進めます

施策3 ▷行政区ごとに対話の場を設け、皆さんの声を聴き、まちづくりを進めます ▷地域活動や防災、福祉の担い手づくりを支援します ▷ふるさと納税の使途を増やし、団体・地域活動を支援します

将来に責任を持つ添田

必要なサービスを続けるために事業の優先度を明確にします

施策4 ▷公共施設ごとのカルテを作成し、施設のあり方を検討します ▷財政を健全に保つルールをつくります ▷予算をつくる過程を見える化（公開）します ▷町のお財布事情をわかりやすくお伝えします

高齢になっても安心して暮らせる添田

買い物、通院、見守り、福祉を地域の生活基盤として支えます

施策5 ▷田川方面のバスは近隣自治体との連携を強化し、地域による交通支援のしくみを考えます ▷クアハウスを維持し、利用者の皆さんも運営を支援できるしくみづくりをすすめます ▷見守り対象者の把握と関係者間の情報共有の強化につとめます

約束を守り確認できる添田

公約や、いただいた意見を見える化します

施策6 ▷私の約束を、町の計画に落とし込みます ▷毎年、各施策の成果や実施状況を公表し、実施を断念したものは、その理由を明確に説明します

問 役場健康子育て応援課健康・子ども保健係（☎31-5001）

食べすぎ防止のコツ

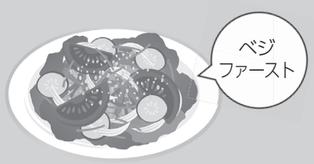
～おいしく食べて、健康な毎日を～

もうすぐ、秋が到来します。

食欲の秋と言われるように、秋には美味しい食べ物がたくさんあり、夏バテで落ちていた食欲が回復して、食欲も増す時期ですね。ついつい食べすぎてしまうことが増える時期ですが、食べすぎは消化不良や内臓脂肪の蓄積に繋がるため、身体にはよくありません。今回は、食べすぎ防止のコツをお伝えします。

食べすぎ防止！今日からできる３つのコツ

① 野菜から食べよう



野菜から食べることで血糖値の急上昇を抑え、胃腸での消化速度がゆっくりになり満腹感も感じやすくなります。血糖値の上昇を緩やかにすることで、脂肪のつきにくい身体づくりにもつながります！

② よく噛んでゆっくり食べよう

早食いは満腹感を得られにくいため、過食になりがちです。1口につき20回～30回噛むと、よく噛んでゆっくり食べることができます。咀嚼（そしゃく）回数を増やすことで食事量が約１割減ったという報告もあります。食事時間を20分以上かけると、必要以上に食べすぎるのを防ぎ、満腹感を得やすいと言われています。

③ 腹八分目を心がけよう

「もう少し食べたい」と思うくらいで箸を置くのが食べすぎ防止の基本です。

「腹八分目は医者いらず」ということわざがあるように、健康促進や病気予防にも効果があるとされています。

参加者募集！

スマソルレシピ教室

～楽しく学ぶ減塩料理～

スマソルとは、福岡県が推進している減塩プロジェクトのことです。添田町食生活改善推進会と一緒に、減塩について学び、楽しく料理をしませんか。年齢・性別問わずどなたでも参加できます。料理に自信のない人でも会員がサポートしますので、気軽に参加ください。

▶**とき**　11月17日㈫９時30分～11時30分
▶**ところ**　オークホール調理実習室
▶**募集人数**　先着15人
▶**参加費**　500円
▶**申込期限**　11月６日㈮
▶**申込先**　役場健康子育て応援課健康・子ども保健係（☎31-5001）
※添田町食生活改善推進会の活動記録は、町ホームページに掲載しています。

←活動記録はこちらから

百人彩生

豊かな経験と、たくさんの笑顔で彩られた100年に　心からの敬意を込めて

敬老の日を前に９月17日、今年度100歳を迎える方のうち、６人の長寿者を久保田町長が訪問して長寿のお祝いをしました。訪問先では、身支度をした長寿者の皆さんが家族や施設職員の皆さんと一緒に元気な笑顔で町長を迎えてくれました。

町長からお祝い状を手渡され「100歳おめでとうございます。このままお元気で、いつまでも健康でいてください」と声をかけられると皆さん「ありがとうございます」と笑顔で答えていました。

令和８年９月21日の敬老の日現在、町には75歳以上の人は２２４２人、その中でも100歳以上の人は20人です。長寿の皆さんは、町の誇りです。町では、今後も子どもから高齢者まで皆さんが安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めます。

問 役場福祉環境課高齢者支援係（☎82－１２３２）

内野　絹子さん（上落合一）

「元気倶楽部でサプライズのお祝いをしてもらい、びっくりと同時に大変うれしかったです」と内野さんは元気倶楽部で体操を楽しんでいます

吉竹　トモヱさん（下津野）

「足が悪く、移動は車いすですが、毎日ひ孫たちと７人で囲む夕食が楽しみです」と、家族に囲まれた日々が元気の源になっている吉竹さん

秋永　ミチ子さん（桜橋）

100年の歩みを重ねた秋永さん。「何気ない毎日を大切に、ゆっくり寝ることが元気の秘訣です」と笑顔で教えてくれました。

五郎丸　フサヱさん（庄東）

100歳のお祝いのお返しに、五郎丸さんは得意の「桃太郎」の歌を久保田町長に披露しました

田邉　キリヱさん（中津野）

施設に入所する前は家庭菜園でおいしい野菜を育てていた田邉さんは、家族と一緒に記念撮影

山本　綾子さん（下津野）

何度も「ありがとうございます」と感謝を伝えていた山本さん。施設職員に囲まれ記念撮影

11/14(土) 15(日)

旧添田小学校がゲームセンターに！
今年も豪華ゲストが来場予定！！

SOEDA-LAN2026

▶▶▶会場　旧添田小学校

旧添田小学校が、今年もみんなの「遊び場」に変身！ 11月14日・15日の２日間、ｅスポーツイベント「ＳＯＥＤＡ－ＬＡＮ２０２６」が開催されます。会場には、最新のテレビゲームやＰＣゲーム、ＶＲ体験をはじめ、懐かしのレトロゲーム、麻雀、ボードゲームなど、世代を超えて楽しめるさまざまなコンテンツが大集合。プロ選手による迫力のある対戦や交流イベントも予定されています。今年のゲストには、ＦＥＮＮＥＬ所属のプロｅスポーツ選手「Ｍｉｙａ」さん、ＺＥＴＡ　ＤＩＶＩＳＩＯＮ所属の「ａｃｏｌａ」さん、プロ雀士の「渡辺太」さん、「多喜田翔吾」さん、そして添田町ＰＲ大使の「毛利蘭」さんが登場！ゲームを「する」だけでなく、「観る」「体験する」「世代を超えて一緒に楽しむ」ことができる２日間です。会場には地元グルメを楽しめる飲食ブースも予定されています。入場は無料。友達や家族と一緒に、懐かしい校舎で新しい遊びを楽しんでみませんか。

当日遊べるゲームの一部をご紹介！

全世界で５億人以上の登録プレイヤーがいる人気ゲーム、フォートナイト

←アームセンサーなどを装着し、ＡＲ（拡張技術）を使い遊ぶＨＡＤＯ

世界中で大人気の、オンラインゲーミングプラットフォーム、Ｒｏｂｌｏｘ

▶開催時間　10時～17時

問 役場まちづくり課情報推進係（☎82-5965）

11/3(火)・(祝)

年に一度の収穫祭が旧津野小で！！

津野収穫祭

▶▶▶会場　旧津野小学校

地域のつながりや賑わいづくりを目的とした取り組みとして、昨年につづき閉校した旧津野小学校で「津野収穫祭」が開催されます。昨年好評だった津野地域で収穫された米や野菜、花きなどの農産物を販売する「軽トラ市」や、地域の皆さんによる手作り品、飲食物などの販売も行われます。

▶開催時間　10時～15時

問 津野地区小さな拠点づくり準備会事務局（☎82-5965）

11/28(土) 29(日)

添田のおいしい・楽しいが集合！
北海道美深町のじゃがいも販売も!!

令和8年度ふる里まつり

▶▶▶会場　オークホール駐車場

毎年、多くの来場者でにぎわう「ふる里まつり」。町の特産品や伝統工芸品、地域の味を楽しめる出店をはじめ、姉妹町の北海道美深町から直送されたじゃがいもやかぼちゃなどを販売します。ステージイベントではさまざまな催しや演奏が行われ、会場を盛り上げます。家族や友人と一緒に買い物や食事、ステージを楽しみながら、秋の一日をゆっくり過ごしませんか。出店者情報やステージイベントの詳細は決定次第、町ホームページでお知らせします。

▶開催時間
　▷28日　９時30分～17時
　▷29日　９時30分～15時30分

※少雨決行。

問 役場商工観光振興課商工振興係（☎82-1236）

11/7(土)

「人とのつながり」の大切さを感じる

第5回福祉まつり

▶▶▶会場　添田町体育館

今年で５回目の開催となる「福祉まつり」。「つながる心が地域を守る」をテーマに地域の皆さんが福祉について身近に感じ、楽しみながら交流できるイベントです。会場では町内の社会福祉法人による体験コーナーやステージイベント、お楽しみ抽選会などが行われます。子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さんで楽しい時間を過ごしませんか。

▶開催時間　10時～13時

問 添田町社会福祉法人地域公益活動連絡会（☎82-2600）

10/10(土) 11(日) 12(月)・(祝)

山々に囲まれた英彦山で木に触れる！
今年は木の楽器やＤＩＹ体験も楽しめる！

木のおもちゃキャラバン感謝祭2026

▶▶▶会場　英彦山スロープカー花駅２階

英彦山スロープカー花駅２階にある旧英彦山小学校体育館を舞台に木のおもちゃや木製カローリング、巨大な木製コロコロ装置などで１日中遊べる「木のおもちゃキャラバン」を今年も開催。来場者にはわたがしのプレゼントも。たくさんの木のおもちゃで、大人も子どもも力いっぱい遊んでください。

▶イベント概要
　▷木のおもちゃ・楽器エリア：積み木、木のカラクリおもちゃ、木琴など　▷ＤＩＹ体験（12日のみ開催）：地域の木材を使ったパーゴラ作り

問 英彦山スロープカー電車運行部（☎85-0375）

10/25(日)

上中元寺に受け継がれる祈りと伝統

薬師堂大祭2026

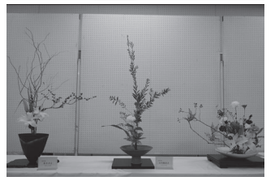
▶▶▶会場　上中元寺薬師堂

１年の家内安全と無病息災を願い行われる上中元寺薬師堂大祭。午後からは薬師堂前の駐車場で楽しいイベントも行われます。

▶午前の部　10時～11時30分
　▷法要
▶午後の部　12時～14時30分
　▷祭・お薬師さん

【プログラム】◎サングリーン職員による太鼓演奏　◎添田中学校吹奏楽部による演奏　◎ピアノ演奏　◎田川地区消防署添田分署による消防車展示・消火訓練　◎もちまき　など

問 上中元寺観光協会 井手口さん（☎090-5737-5376）



11/7(土) 8(日)

半世紀にわたり歩みを重ねてきた添田町総合文化祭。
今年は50回を記念して特別公演・記念式典も開催！

第50回添田町総合文化祭

秋のイベントガイド
山里に広がる秋の彩り
味わう　楽しむ　ふれあう
添田で過ごす特別な一日

▶▶▶会場　オークホール

踊りや歌、バレエ、コーラスなどステージで披露する芸能部門や華道、書道、手芸品、ハガキ絵など数々の力作が並ぶ展示部門で、それぞれ磨き抜かれた芸能や作品に出会える２日間。50回目の開催となる今年の文化祭は特別公演に福岡県警察音楽隊と陸上自衛隊音楽部の皆さんによる演奏会を開催し、記念式典では多くの人の思いとともに歴史や芸能を紡いできた功労者に対し、表彰を行います。いずれも参加は無料です。皆さんのお越しをお待ちしています。

▶特別公演　７日
　▷15時～福岡県警察音楽隊・陸上自衛隊音楽部による演奏会

※特別公演の鑑賞には入場整理券（全席指定）が必要です。入場整理券の配付方法などは町公式ＬＩＮＥ、町ホームページでお知らせします。

↑公式LINE　↑ホームページ

▶記念式典　８日13時～
▶芸能発表の部
　▷７日９時～　歌謡（カラオケ）
　▷８日10時～舞踊　▷三味線　▷コーラス　▷体操　▷詩吟　▷バレエ　▷琴　など
▶展示発表の部　７日、８日各日９時～16時
　▷下げもん　▷生け花　▷書道　▷水墨画　など

問 教育委員会社会教育課文化振興係（☎82-2559）

町内で創業などを考えている人を支援します

来年度の補助金活用に向け、希望事業者の事前調査を行います

町内で新たに創業や事業承継・第二創業、新事業展開に取り組む事業者を支援するため、創業などに必要な費用の一部を補助する添田町創業等支援事業補助金。来年度も多くの事業者が制度を活用できるよう補助金申請を希望する事業者の調査を行います。

◉対象となる創業の種類

▶創業　町内で事業を営んでいない個人または法人が、町内で新たに事業を始めること

▶事業承継　町内で事業を営んでいる個人の後継者が先代から事業を引き継ぐこと

▶第二創業　町内で事業を引き継いだ後継者が、業態転換や新事業・新分野に進出すること

▶新事業展開　事業を営んでいる個人または法人が、新事業や新分野への進出により、事業拡大や新たな雇用を創出すること

◉補助額

▶町内に居住または町外から町内へ移住する人
▷補助率：対象経費の１／２
▷上限額：飲食業・小売業・宿泊業・生活関連サービス業など100万円、その他の業種50万円

▶町外に居住している人
▷補助率：対象経費の１／２
▷上限額：一律30万円

◉補助要件
▶町内事業所を設置または設置することが確実である　▶申請年度内に創業等と行うまたは創業から２年を経過していないこと　▶創業から５年以上継続して町内で営業、かつ添田町商工会の会員になること　▶町税などに滞納がないこと　など

◉受付締切日　令和８年11月20日㈭
※補助要件には複数の要件があります。詳しくは問い合わせ、または町ホームページで確認ください。

↑ホームページはこちらから

問 添田町商工会（☎82-0244）
役場商工観光振興課商工振興係（☎82-1236）

あいことばは「みんなでまちづくり」

みんなでまちづくり助成金を活用して活動してみませんか

町をにぎやかにする活動や、地域課題解決への取り組みなど「住みたくなるまち」を目指して活動している団体の活動費を助成しています。地域の人や友人と、みんなでまちづくりを始めてみませんか。まずはご相談ください。

◉助成金の概要

	小さな活動	大きな活動
対象団体	①18歳以上の構成員が５人以上 ②構成員が５人以上添田町在住	①18歳以上の構成員が５人以上 ②構成員の過半数が添田町在住または通勤・通学 ③団体の会則がある ④活動拠点が町内
交付額	上限５万円／年	上限20万円／年
交付回数	１団体１回	１団体１回
必要書類	①申請書　②構成員名簿 ③事業計画書　④予算書	①申請書　②会則　③会員名簿 ④事業計画書　⑤予算書

◉申請期限　令和８年12月28日㈪（土日祝日を除く）
※予算に達した場合は、申請期限前に締め切る場合があります。

◉助成活動例　▶花いっぱい運動　▶地域イベント　▶農林業体験　▶こども食堂　など

◉活動対象経費　▶講師の謝金・旅費　▶消耗品費　▶スポーツ保険料・ボランティア保険料　▶公民館の使用料　など

問 役場まちづくり課政策企画係（☎82-5965）

9月1日から 生活道路の法定速度が 時速30キロになりました

改正道路交通法施行令の施行により、中央線などがない生活道路では、自動車の法定速度がこれまでの時速60キロから時速30キロに引き下げられました。
子どもや高齢者など、歩行者の安全を守るため、自動車は「ゆっくり、安全」な運転を心掛けましょう。

問 田川警察署（☎42-0110）
役場防災管財課防災安全係（☎82-4002）

生活道路とは･･･
通勤、通学、買い物など、地域の人が日常生活で利用する、中央線や中央分離帯のない比較的狭い道路のことを生活道路と呼びます。

詳細は福岡県警ホームページで確認ください→

対象の生活道路は･･･

次のような道路が対象です。
▶中央線がない
▶車両通行帯（白線などの道路標示によって区切られた部分）がない道路
▶住宅地などにある地域の人が日常的に利用する道路
▶道路標識で別の速度指定がされていない道路

道路標識で時速40キロや時速50キロなどの速度が指定されている場合は、その指定された速度が最高速度となります。

なぜ時速30キロ？

生活道路は子どもや高齢者などの歩行者や自転車の利用が多いことから、速度を抑えて安全性を高めるためです。

通学や遊びで道路を利用する子どもたちを、飛び出し事故などから守ります

道路を横断する際の危険や、車とすれ違う際の恐怖感を和らげます

交通死亡事故のリスクを減らします。国土交通省の資料によると自動車の速度が時速30キロ未満の事故は歩行者の致死率が１％未満ですが、30キロを超えると致死率が急上昇するといわれ、時速30キロは命を守る基準とされています。

添田町では・・・

町内でも住宅地を走る道路や通学路など、皆さんの暮らしに身近な生活道路がたくさんあります。

←速度制限の道路標識がなかった畑川商店街

→岩瀬地区の桜町団地内を通る町道樋口・豊川線も新たに時速30キロ規制となります

生活道路以外は変わりません

中央線がある道路や車両通行帯がある道路、中央分離帯などで往復交通が分離された道路で、道路標識による速度制限がない道路は今までどおり時速60キロが基本です。

健康な身体をつくりませんか

「プールでゆっくりゆったり体操教室･秋」を開催します

クアハウスでは代謝を上げることを目的に、プールでの体操教室を開催します。有酸素運動をベースにストレッチや水中歩行など毎週メニューを更新し、徐々に運動量を上げていく予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

◉**開催日**　10月13日㈪、10月14日㈫、10月16日㈭、10月19日㈰、10月20日㈪、10月23日㈭

◉**開催時間**　13時30分～14時15分

◉**講師**　福岡カホスイミングスクール　藤田雄太さん

◉**参加費**　無料
※ただし入場料（一般260円、70歳以上の人と障害者手帳をお持ちの人は160円）が必要です。

◉**申込方法**　申込書に必要事項を記入し、クアハウスの窓口に提出

◉**交通手段のない人にも対応します**
町内在住の希望者に、送迎サービスを行います。申込書を提出するときに、申し出ください。

問 クアハウスハピネス（☎82-5061）
役場福祉環境課高齢者支援係（☎82-1232）

重度障がい者医療証をお持ちの皆さん

新しい医療証を郵送しています

重度障がい者医療証を持っていて、所得情報などの受給条件が確認できた人に、10月から使用できる医療証を郵送しています。まだ医療証が届いていない場合は、役場住民課保険年金係に問い合わせください。受給資格の確認にあたり、所得情報が確認できない人には、所得の申告手続きをお願いすることがあります。
※有効期限が令和９年９月30日より前の場合は、有効期限までに障害者手帳および医療証の更新手続きが必要です。

問 役場住民課保険年金係（☎82-5966）

後期高齢者医療制度の被保険者の皆さん

健康診査と歯科健診の受診はお済みですか

福岡県後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆さんを対象に、健康診査と歯科健診を実施しています。健康を維持するために、まだ受診していない人は早めに予約し受診しましょう。健康診査や歯科健診実施医療機関がわからない場合や受診票・受診券が見当たらない場合は問い合わせください。

健康診査

◉**受診対象者**　長期入院および特別養護老人ホームなどの施設に入所している人を除く、すべての被保険者

◉**受診期限**
令和９年３月31日㈬
※医療機関の休診日を除きます。

◉**受診方法**　健康診査を実施している医療機関に予約して受診

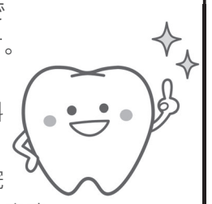
◉**受診時に持っていくもの**　▷受診票　▷マイナ保険証または資格確認書　▷自己負担金500円
※受診票は、今年度75歳になる人には誕生月の10日頃に、それ以外の被保険者の皆さんには５月上旬までに発送しています。

歯科健診

◉**受診対象者**　長期入院および一部の施設に入所している人を除く、今年度76歳～80歳になる昭和21年４月１日～昭和26年３月31日生まれの人
※歯科治療中でも、歯科健診の受診は可能です。

◉**受診期限**　令和８年12月まで
※歯科医院の休診日を除きます。

◉**受診方法**
歯科健診を実施している歯科医院に予約し受診



※歯科健診を実施している医院の一覧は、受診券に同封しています。

◉**受診時に持っていくもの**
▷受診券　▷マイナ保険証または資格確認書　▷自己負担金300円
※受診券は５月下旬に発送しています。

問 福岡県後期高齢者医療広域連合お問い 合わせセンター（☎092-651-3111）

10月から来年３月までの接種が対象です

子どものインフルエンザ予防接種費用を助成します

福岡県ではインフルエンザが流行しています。感染すると高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化する場合もあります。町ではインフルエンザの流行や重症化を防ぐため、子どもへのインフルエンザ予防接種の費用を全額助成します。

◉**対象者**　接種日に添田町に住民票がある、生後６か月～18歳に達する日以後の最初の３月31日までの人

◉**接種回数**　▷生後６か月～13歳未満の人／２回　▷13歳～18歳に達する日以後の最初の３月31日までの人／１回

◉**助成対象となる接種期間**　令和８年10月１日㈬～令和９年３月31日㈬

◉**医療機関に持参するもの**　▷マイナ保険証または資格確認書　▷母子手帳など接種者の現住所がわかるもの

◉**医療機関での費用**
▶田川医師会に登録のある医療機関　無料
▶田川医師会に未登録の医療機関　一度、接種費用を全額自己負担
※後日、役場健康子育て応援課に申請すると払い戻しを受けることができます。13歳未満の人は、２回目の接種後に申請してください。
※医療機関によって窓口での支払いの有無が異なります。予約をするときに確認してください。田川医師会に登録している医療機関は、田川医師会のホームページでも確認できます。

↑田川医師会のホームページはこちらから

◉**払い戻しの申請をするとき**
▶必要なもの
▷医療機関が発行する領収書　▷申請者のマイナンバーカードまたは資格確認書　▷印鑑　▷通帳など振込先の口座番号がわかるもの
▶申請先　役場健康子育て応援課健康・子ども保健係
▶申請期限　令和９年３月31日㈬

問 役場健康子育て応援課健康・子ども保健係（☎31-5001）

回答をお待ちしています

コンビニ交付サービスへのアンケートにご協力ください

町では令和７年２月から、マイナンバーカードを使って全国のコンビニエンスストアなどで住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できる「コンビニ交付サービス」を行っています。今回、サービスのさらなる拡充に向け、満足度アンケートを実施します。皆さんからのご意見は、今後の改善に活用させていただきますので、アンケートへの回答にご協力をお願いします。

◉**対象者**　コンビニ交付サービスを利用して、住民票の写しや印鑑登録証明書を取得したことがある人

◉**回答方法**　ＱＲコードを読み取り、専用サイトから該当する内容を選択または入力し回答してください

↑アンケートの専用サイトはこちらから

◉**質問項目**　①年齢　②取得したことのある証明書　③満足度　④今後コンビニ交付で取得できるようになってほしい証明書　⑤その他、意見・要望など

◉**所要時間**　約３分

◉**回答期限**　令和８年12月31日㈭

※アンケートは匿名で、回答者が特定されることはありません。回答内容は、アンケートの集計・分析のみに使用し、第三者への提供は行いません。

～マイナンバーカードをお持ちですか～

マイナンバーカードは、身分証明書としてだけでなく健康保険証としての利用やコンビニ交付サービス・パスポートの申請などの各種行政手続きが１枚でできる便利なカードです。役場では「マイナンバーカード作りたいけどどうしたらいいかわからない」とお困りの人を対象に写真撮影などの手続きをサポートしています。運転免許証など、顔写真付きの本人確認ができる書類をお持ちください。この機会にマイナンバーカードを申請しませんか。

問 役場住民課戸籍住民係（☎82-1233）

消防団員が学ぶ、いざという時の救命技術

添田町消防団訓練

住民の生命を守るため心肺蘇生法やＡＥＤの使用方法などを学ぼうと８月30日、９月13日の２日間、田川地区消防署職員を講師に町消防団員が救命講習を受講しました。いざという時に慌てず処置を施すため、救命の知識と技術を身につけ命を守る備えを学び、地域の安心につなげ、地域防災力の強化に生かしていきます。

↑参加した団員全員が交代でＡＥＤを使用しました

復興への願いを込め、熊本へ寄附

行政区長会熊本地震義援金

７月28日に発生した地震で、現在も多くの人が避難生活を継続している熊本県に寄附を行うため町行政区長会役員（会長：畠田学町四区長）が９月１日、町長室を訪れました。畠田会長が「熊本の１日も早い復興を願っています」と寄附金を手渡すと、久保田町長は「貴重なご寄附、熊本に届けます」と感謝を述べていました。

↑区長会役員の道園副会長(左)、畠田会長(中右)、内野会計(右)

海外で学んだ視点を添田の未来へ

添田町青少年グローバル人材育成事業報告会

７月31日から１週間、ニュージーランドで研修を行った中学生７人が事業報告会を行いました。海外での生活を経験した中学生が帰町した後、町内をフィールドワークし、海外と添田の違い・課題を考え、その対応策を２つのグループに分かれ発表しました。添田中３年生の井元さん、森田さん、２年生の平塚さんグループは「ニュージーランドでは夕食時、マオリの文化を体験しないと食事ができないプランがありました。登山者が多い英彦山で、楽しい３つのプランを体験しないと下山できないようなパスをつくり、半強制的に歴史を感じさせては」と提案していました。

↑「研修では自然を活かしたアクティビティを楽しみながら、文化や地域の特色を体験できた。添田でも深倉峡を、全身で自然を体感できるキャニオリング（川下り）の聖地にしたい」と提案した（左から）濱本さん、中村さん、西田さん、城戸さん

黄金色に実った稲を丁寧に笑顔で収穫

添田小学校４年生稲刈り体験

９月９日、添田小学校４年生45人の児童が稲刈りを行いました。５月に自分たちの手で植えた苗は、夏の日差しを浴びて大きく成長し、たくさんの実を付けた黄金色の稲穂に。児童たちは鎌を手に一株ずつ丁寧に刈り取り、「収穫するのが楽しい」と笑顔で稲刈りを楽しみ、米の収穫を通して農業の大切さを学びました。

↑収穫したお米は10月に小中学校の給食で提供されます

みんなで考える安心できる避難所づくり

男女共同参画推進セミナー

８月30日、岡田親幸防災官を講師に「誰もが安心して過ごせる避難所づくり」セミナーが開かれました。過去の災害で着替えなどに男女別の配慮がなく心身の負担が大きくなった例を紹介。高齢者や子ども、障がいのある人など誰もが過ごしやすい避難所にするためには避難所運営に女性も携わることが重要だと語りました。

↑災害は忘れたころにやって来る!と防災の話もありました

↑ステージではチームの協力が重要な要素になる「プロスタ」で白熱した戦いが繰り広げられました

ゲームで熱く！ｅスポーツの熱戦！

ｅスポーツ体験会／№１決定戦

８月23日、９月６日の２日間、対戦型ゲームの腕前を競うｅスポーツの体験会がオークホールで開催されました。人気ゲーム「太鼓の達人」や「スーパーボンバーマンＲ２」、「鉄拳８」など６タイトルを用意した２日間で約60人が参加しました。６日は体験会に加え、ドローンの操縦体験会も開催され、参加者はドローンを使った魚釣りに熱中していました。９月13日には町内のｅスポーツ覇者を決めるｅスポーツ№１決定戦が開かれ、小中学生は自身のスマホやタブレットで参加する「プロスタ」と「ｅＦｏｏｔｂａｌｌ」、大人は「太鼓の達人」で腕前を披露し、大盛り上がりでした。

ＢＲＴ３周年 沿線地域の魅力を発信

ＢＲＴひこぼしライン３周年記念イベント

８月30日、ＪＲ小倉駅でＢＲＴひこぼしラインの開業３周年を記念した、添田町・東峰村・日田市の特産品が楽しめるマルシェが開かれました。添田町からは新米をはじめ、手作りこんにゃくや果物や野菜、ゆずいなりなどを販売。沿線地域の魅力が詰まった逸品が集まり、会場がたくさんの人でにぎわいました。

↑BRTひこぼしラインのPRコーナーも設けられました

バイオリンとピアノで過ごす贅沢な時間

ＡＩＲミニコンサート

オークホールで８月29日、日田彦山線沿線の振興などを目的としたミニコンサートが開かれました。九州交響楽団コンサートマスターの西本幸弘さんとピアニスト外山啓介さんを迎え、時空のうつろい・ノスタルジーに焦点をあてたコンサートはドヴォルザークの「ユーモレスク」など11曲が披露され、聴衆を魅了していました。

↑10月18日にもカフェクロマテックでコンサートが開かれます

プロに教わる!これで私も蕎麦打ち名人!

大人の蕎麦打ち体験教室

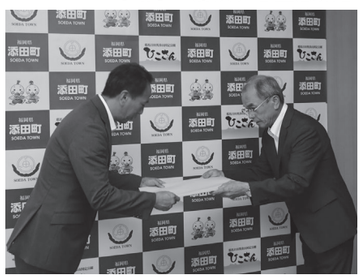
オークホールで９月17日、そば処じょうはんの上半一彦さんを講師に「大人の蕎麦打ち体験教室」が開かれました。上半さんの蕎麦打ちの実演を見た後に、蕎麦粉をふるいにかける工程から麺を切る作業までを体験。初めて蕎麦打ちを体験する人も多く、指導を受けながら一つ一つの工程に真剣な表情で取り組んでいました。

↑講師にコツを教わりながら蕎麦を切っていく参加者

適正な財政運営に向け決算をチェック

令和７年度決算審査意見書

町の財政事務が適正かつ効率的に執行されているかを監査する町監査委員の宮平信之さんと山本徳和さんが令和７年度の歳入歳出決算審査を行いました。審査は約１か月間にわたり、事業の実績や関係諸表を確認。８月28日に審査結果をまとめた意見書を久保田町長に提出しました。決算の詳細は11月号でお知らせします。



↑宮平監査委員㊨から意見書を受け取る久保田町長㊧

問 役場商工観光振興課歴史文化財係（☎82-1236）

病に向き合った先人たち 添田町の医療の歴史

「10・10」を横に倒すと、2本の「1」が眉、2つの「0」が目のように見えることから10月10日は「目の愛護デー」とされ、目の健康や大切さを呼びかける運動を行っています。今回は、健康にまつわる町の歴史をお伝えします。

添田町では、かつて、英彦山に住む山伏たちが目の薬を作っていました。史料によると、山伏たちは6種類の生薬を粉末状にし、水とハチミツを加えて、じっくりと加熱し、錠剤のような形に練り固めていたようです。使用する時は、水で錠剤を溶かして、目にさしていたと考えられています。目薬以外にも、山伏たちはさまざまな薬を作っており、その代表的なものが11種類の生薬を調合した「不老圓（ふろうえん）」です。不老圓は、頭痛やめまいなどに効果がありました。山伏たちは、病人へ神仏の力を借りて病気が治ることを願う「加持祈祷（かじきとう）」を行うとともに、薬による治療で病気を治していたようです。多くの人々を病気から救ったことは、山伏が人々の支持を得た一つの理由とも言えるかもしれません。

このように、町内には古くから医療に携わる人々が多く存在しました。添田町史にも、昔から医療を営む家が多くあったと書かれており、多くの医師が存在していたことが分かります。そのなかでも、地域の人々に慕われた一人が「宮城犬三医師」でしょう。

現在でも、野田の加茂神社には聴診器を手に持つ宮城医師の銅像が大切に守り継がれています。今年の4月、野田行政区から明治時代の史料が町へ寄贈されましたが、そのなかには、宮城医師が国と福岡県から表彰を受けたときに、地域の人々が加茂神社で祝賀会を開催したことが記録されていました。祝賀会では花火が打ち上げられ、宮城医師の自宅から会場までの道路両側に桜の木を植え付けるなど、盛大に祝われたようです。

このような貴重なエピソードは、地域に残る史料があってこそ知ることができます。地域に残る史料は、先人たちの暮らし、願い、そして地元への思いが刻まれたものです。一度失われれば、二度と取り戻すことはできません。ぜひ手に取って目を通し、地域の歴史を紐解くとともに適切に保管して、地域の記録を次世代へ確実に引き継いでいきましょう。

【文・西山紘二学芸員（商工観光振興課歴史文化財係）】

↑加茂神社の敷地内にある宮城医師の銅像

文芸歳時記

【短歌　投稿】

裏路地の酒場の窓のこもれ灯に　背を染めし犬われに振り向く　独活山強実

飛行機は飛び立ったのかダイビング　沖縄好きの吾子は喜々とし　櫻木マサ子

コーヒーの香りにつられ一休み　秋の夜長に栞を挟む　佐藤　直

田園の草焼田畑の肥料　一片の通達に焼場の灰と化すや　柳瀬　一徳

十三夜少し寂しき影あれど　満月となり虚（むな）しきことも　西村　宗雪

訪（おと）なえば両手を握り涙ぐむ　「よかったよかった」に母の声を聴く　久保田克利

【俳句　投稿】

霧晴れて澄みたる空や豊前坊　伊勢村　稔

突然に空を焦がされて熱帯夜　寺本　芳寛

年寄りて心細かる夜長かな　柳瀬　満子

【川柳　投稿】

製造工程見学できる「めんべい工場」　原田祥二郎

駅前店ヤマメ料理が味わえる　原田　順子

◉11月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

10月15日㈭までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

問 役場総務課広報・秘書係（☎82―4000）

まちのホットNews

3年生最後の夏 最後まで粘り強く

添田中学校男子バドミントン部

↑報告に訪れた顧問の林先生、部員の皆さんと久保田町長

9月16日、添田中学校男子バドミントン部が県大会の結果報告に久保田町長を訪問しました。3年生最後の大会となる田川地区大会で優勝し、筑豊大会で3位となったバドミントン部。県大会では1回戦を突破し、2回戦では今大会2位となったチームを相手に最後まで粘り強く戦いましたが、0－3で惜しくも敗れました。「負けたけど楽しかった」と話す部員たち。この大会で引退となった3年生から新チームを引き継いだ、キャプテンで2年生の深見翔さんは「まず、次の大会での田川地区大会優勝を目標に、練習に励みます」と新たな決意を語ってくれました。3年生の部員の皆さんお疲れさまでした。先輩たちの思いを受け継いだ新チームのこれからの活躍が楽しみです。

模擬選挙で学ぶ 情報を判断する力

添田中学校「SNSの投稿を活用した模擬選挙」

9月16日、添田中学校3年生を対象に「SNSの投稿を活用した模擬選挙」が行われました。スマートフォンの普及により大量の情報に接する機会が増える中、情報を正しく読み解き、活用する「情報リテラシー」を高めることが重要視されています。この模擬選挙は情報を多角的に捉え、主体的に判断する力を身につけてほしいと田川青年会議所が実施。生徒たちはまずSNSの情報だけを参考に1回目の投票を行い、その後、候補者の討論会を聞いて再度投票しました。多くの生徒が投票先を変え、情報を一つの側面だけで判断する難しさや多角的に考えることの大切さを学びました。

↑投票には、実際の選挙で使っている投票箱と記載台が設置されました

10月生まれ HAPPY BIRTHDAY おめでとう

新野 暁天（ぎょうてん） ちゃん
10月10日生 ❷・添田西

面白いおしゃべりに楽しい表情♪いつも笑顔にしてくれる可愛いアイドルぎょうてんにみんな夢中！大好きっ♡

三根 悠暉（はるき） ちゃん
10月29日生 ❷・町四

食いしん坊で泣き虫で甘えん坊のはるくん♡お誕生日おめでとう♡いっぱい食べて笑って大きくなってね♡だいすきっ♡！

中富 心珀（こはく） ちゃん
10月30日生 ❸・野田

こはくちゃん♡おたんじょうびおめでとう！いっぱい食べて大きくなってね！

中富 心美（みみ） ちゃん
10月30日生 ❺・野田

みみちゃん♡おたんじょうびおめでとう！これからもキラキラ笑顔のみみちゃんでいてね。

未就学児のお子さん大募集！

11月生まれの締め切りは、10月15日㈭です。

①お子さんの写真　②お子さんの氏名　③名前の読み方
④誕生日　⑤年齢　⑥行政区　⑦メッセージ（50文字以内）
⑧保護者の連絡先をEメールで送信ください

送信先 koho@town.soeda.fukuoka.jp

問 役場総務課広報・秘書係（☎82-4000）

地域子育て支援センター 10月の予定

★観劇会　おんぷらんと「こびとのサーカス」▷21日

★サークル「めだかっこ」（毎週火曜日）
▷13日／戸外遊び（給食）　▷20日／手芸くらぶ（給食）　▷27日／ハロウィンバッグ製作（給食）

★サークル「おんぶに抱っこ」（毎週金曜日）
▷9日／乗り物遊び　▷16日／親子健康教室・おっぱい相談・虹の会読み聞かせ　▷23日／運動遊び
▷30日／ハロウィン

★ベビーサークル「あっぷっぷ」
▷14日　▷28日／虹の会読み聞かせ

★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」
▷8日

≪11月の予告≫　▷10日／りんご狩り　▷18日／おんぶに抱っこマルシェ

※詳しくは「おんぶに抱っこ通信」をご確認ください。

問 添田町地域子育て支援センター（☎85-0888）

試験

自衛官採用試験

【第4回2等陸・海・空士】

▼**試験日** ▽筆記試験・適性検査／11月28日㈯～12月1日㈪のうちいずれか1日 ▽口述試験身体検査／12月11日㈭～14日㈰のうちいずれか1日

▼**受験資格** 日本国籍を有する18歳～32歳の人

▼**受付締切** 11月20日㈭

※自衛官募集に関する説明会を随時開催しています。ご都合に合わせて個別説明や出張説明も可能です。詳しくは問い合わせください。

問 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所（☎0948―22―4847）

イベント

AIR事業ミニコンサート

福岡県では日田彦山線沿線地域の活性化や関係人口・交流人口の拡大を図るAIR事業を行っています。今回は、事業のアドバイザーである西本幸弘さんら4人の演奏家によるコンサートを行います。ぜひご来場ください。

▼**とき** 10月18日㈰14時開演／13時30分開場

▼**ところ** Space For You Ⅱ-Ⅴ-Ⅰ（カフェクロマティック）

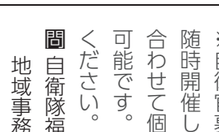
▼**定員** 先着100人

▼**入場料** 無料

問 日田彦山線沿線地域振興事業実行委員会（☎092―643―3180）

第17回ふくおか町村フェア

県内各町村自慢の特産品・グルメ・加工品などが大集合。ステージでは伝統芸能なども披露されます。添田町からは道の駅歓遊舎ひこさんが出展、ステージイベントには添田町PR大使の毛利蘭さんが出演予定です。ぜひご来場ください。



▼**とき** 10月17日㈯10時30分～16時30分、10月18日㈰11時～16時

▼**ところ** 県営天神中央公園

※添田町は17日のみ出展です。

問 福岡県町村会総務課（☎092―651―1121）

福岡県立田川高等技術専門校 ものづくり技能フェスティバル

▼**とき** 11月3日㈫9時30分～14時30分

▼**ところ** 福岡県立田川高等技術専門校（田川市）

▼**内容** ①各訓練科による体験教室 ②訓練生作品展示 ③子ども机・椅子などの家具の即売会

▼**入場料** 無料

※イベントの詳細はホームページを確認ください。

問 福岡県立田川高等技術専門校（☎44―1676）

ケアカフェむゆうげん「老いを楽しむ」

▼**とき** 11月15日㈰13時30分～15時30分

▼**ところ** 香春町民センター

▼**内容** ▽講演①「楽しい老後を迎えるための人生会議」▽講演②「人生の最後を楽しく過ごすホームホスピス」

※講演後にグループワークを実施します。

▼**定員** 先着30人／入場無料

▼**おみやげ** シャボン玉せっけんハミガキ

▼**申込方法** 特定非営利活動法人むゆうげんに電話

※氏名・年齢・性別・連絡先を伝えてください。

問 特定非営利活動法人むゆうげん（☎45―7507）

昭和100年記念 福岡共同公文書館企画展

昭和の始まりから終わりまでの福岡の歩みを振り返り、激動の時代の福岡を歴史公文書や貴重な写真資料から読み解きます。

▼**展示期間** 10月16日㈭～令和9年1月24日㈰

▼**開館時間** 9時～17時

▼**休館日** 月曜日、祝日

▼**入館料** 無料

問 福岡共同公文書館（☎092―919―6166）

女性の健康と働き方フォーラム

女性の健康課題の一つである生理が、働き方に及ぼす影響や生理休暇に関する理解を深め、女性が健やかに活躍できる職場の環境づくりに向けたフォーラムを開催します。

▼**とき** 10月24日㈯14時～

▼**ところ** 福岡国際会議場メインホール

▼**参加費** 無料／要事前申込

▼**申込方法** QRコードから必要事項を入力して申し込み

▼**申込締切** 10月19日㈰

問 女性の健康と働き方フォーラム事務局（☎092―522―8560）

福岡県母子寡婦福祉大会

ひとり親家庭等の福祉の向上を目的に母子寡婦福祉大会を開催します。どなたでも参加できます。お子さんと一緒に気軽にお越しください。

▼**とき** 11月8日㈰13時～15時50分（受付12時30分～）

▼**ところ** クローバープラザアリーナ棟大ホール（春日市）

▼**参加費** 無料（資料を希望する場合は200円）

▼**内容** ①式典 ②行政説明 ③講演「それで、よかよか～寛容の精神が醸成される社会へ～」／講師＝立花高等学校校長 齋藤眞人さん ④活動報告 ⑤大会決議・申し合わせ

※講演のみの参加も可能です。

問 福岡県母子寡婦福祉連合会事務局（☎092―584―3922）

パノラマ田川

筑豊市民大学公開講演会

▼**とき** 11月3日㈫13時30分～15時30分（受付13時～）

▼**ところ** 福岡県立大学大講義室

▼**講演内容** 「月・火星探査と基地～筑豊への想いも込めて～」／講師 宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系 特任教授 河野功さん

▼**定員** 250人程度

▼**入場料** 無料／申込不要

問 筑豊市民大学岩佐さん（☎080―8372―5240）

添田町を元気に！ 地域おこし協力隊通信 Vol.㊲

○着任から1年経ちました

町の魅力を発信中です！

観光資源プロモーターの岩丸康平です。地域おこし協力隊員になって、一年が経ちました。この一年、添田町の魅力をより多くの皆さんに知っていただけるよう、Instagramで町の情報や観光情報を発信したり、ビジターセンターでさまざまな新商品を企画・開発し、販売したりと、地域の魅力を発信する活動に取り組んできました。まだまだ挑戦の途中ですが、これからも添田町の魅力を多くの皆さんに届けられるよう、さまざまなことに挑戦していきたいと思います。ビジターセンターで皆さまのお越しをお待ちしています。

◉ドリンクの新商品を開発しました

【いちごスムージー】
ラテラルファームのあまおうを贅沢に使ったいちご感たっぷりの一杯です

【つのたまミルク】
津野の平飼い養鶏卵つのたまを使ったどこか懐かしくて優しい味わいです

◉ Instagramで情報発信しています

町のイベントや日々の活動などをInstagramで発信しています。ぜひご覧ください。

←地域おこし協力隊

←SOEDA-NAVI

問 役場商工観光振興課観光振興係（☎82-1236）

あったカフェに参加しませんか

地域の高齢者の皆さんやその家族、地域住民の皆さんの集いの場です。どなたでも気軽にお立ち寄りください。

◉**とき** 11月10日㈪ 13時30分～15時

◉**ところ** そえだジョイ2階

◉**内容** 「最近ムセてないですか～今日からできるお口と飲み込みの健康づくり～」

◉**講師** 言語聴覚士 本村大輔さん

問 添田町地域包括支援センター（☎41-3888）

図書館で楽しむ音楽会

悠久の歴史を紡ぐ 体験 雅楽のしらべ

添田町読書会の活動開始50年を記念して、音楽会を開催します。今回は、天理関門雅楽会の皆さんによる三管（篳篥、笙、龍笛）の演奏会です。楽器の体験ができる時間があります。ぜひお越しください。

▶**とき** 11月8日㈰ 14時～（開場13時30分）

▶**ところ** 町立図書館 集会室

▶**演奏曲** 越天楽、陵王など

▶**定員** 先着70人／入場料無料

▶**申込方法** 電話で名前と連絡先を伝えてください

※小学3年生以下は保護者同伴でお越しください。

問 添田町立図書館（☎82-4800）

第2回中島家文化塾

国指定重要文化財 中島家住宅で嗜む表千家茶会

今年度整備された中島家住宅の庭園でお茶会を開催します。表千家茶道教授の清水十六子さんをお迎えし、お茶を点てる体験会や茶道の基本などお茶にまつわる話をお聞きします。この機会にお茶の魅力に触れてみませんか。

▶**とき** 10月24日㈯ 10時30分～11時30分

※雨天時は室内で行います。

▶**ところ** 国指定重要文化財中島家住宅

▶**参加費** 500円

▶**定員** 先着20人程度

▶**申込方法** 電話で名前と連絡先を伝えてください

▶**申込期限** 10月16日㈭ 17時

問 役場まちづくり課政策企画係（☎82-5965）

募集・相談

農業委員を募集します

▼**職務内容** 毎月開催している総会への出席、農地法などに基づく許認可事務、農地利用の最適化に向けた取り組みなど

▼**募集人数** 1人（町内全域）

▼**任期** 任命日～令和11年7月19日

▼**申込方法** 所定の様式に記入し、持参または郵送で農業委員会事務局に提出

▼**募集締切** 10月30日㈭17時

※詳しくは町ホームページを確認または問い合わせください。

問 添田町農業委員会事務局（☎82―1237）

公共職業訓練生（12月生）を募集します

離職などで再就職を希望する人を対象に、専門知識や技能を学ぶ6か月間の訓練です。

▼**訓練期間** 12月1日㈫～令和9年5月27日㈭

▼**訓練科名** ものづくり溶接科／定員15人

▼**対象者** ハローワークに求職を申し込みしている人

▼**受講料** 無料（教科書・作業着などは自己負担）

▼**申込方法** ハローワークに申し込み

▼**募集期限** 11月5日㈭

▼**入所選考** 11月11日㈫／筆記および面接

問 ポリテクセンター飯塚（☎0948―22―4988）

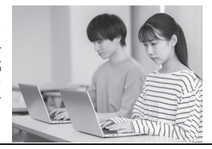
福岡県公共職業訓練施設内訓練生募集

田川・小竹高等技術専門校では、令和9年度施設内職業訓練生（4月入校生）を募集します。

▼**試験日** 11月25日㈫／筆記および面接

▼**募集期間** 10月13日㈪～11月16日㈪

▼**募集科** ▽田川校＝オフィスビジネス科、電気工事科、自動車整備科、木工家具科、エクステリア左官科 ▽小竹校＝プログラム設計科、自動車整備科、機械加工エンジニア科、建築科、デザイン塗装科、介護サービス科



※詳しくは、ハローワークに備え付けている「訓練生募集要項」またはホームページ（https://www.fukuoka-kunren.ac.jp/）で確認してください。

問 福岡県立田川高等技術専門校（☎44―1676）

福岡県立小竹高等技術専門校（☎0949―62―6441）

豊かな生物多様性を守る活動に参加しませんか

福岡県では、生物多様性保全活動の安定化を図るため、生物多様性の保全活動に取り組む団体と活動に関心のある事業者の連携を支援しています。活動内容や興味のある活動など「福岡生きものステーション」のホームページに掲載してみませんか。

※詳しくは福岡生きものステーションのホームページを確認、または問い合わせください。

問 福岡県環境部自然環境課（☎092―643―3367）

北九州視覚特別支援学校 幼児・専攻科生「募集説明会」

▼**とき** 12月4日㈮13時45分～15時30分

▼**対象者** ▽幼稚部＝令和3年4月2日～令和6年4月1日に生まれた幼児 ▽高等部専攻科理療科＝特別支援学校高等部、高等学校、中等教育学校を卒業した人か、令和9年3月に卒業見込みの人またはそれと同等以上の学力があると認められた人

▼**志願資格** 両眼の視力が概ね0.3未満の人、または視力以外の視機能障がいが高度のもののうち、拡大鏡などの使用によっても通常の文字、図形などの視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の人で、原則保護者と県内に在住している人

▼**参加申込方法** 電話

▼**申込締切日** 12月3日㈭

問 福岡県立北九州視覚特別支援学校（☎093―651―5419）

無料法律相談会

▼**とき** 10月16日㈭13時～16時

▼**ところ** オークホール

※事前に予約が必要です。無料法律相談会は、偶数月の第3金曜日に開催しています。詳しくは問い合わせください。

問 役場福祉環境課福祉・障がい者支援係（☎82―1232）

敷金・原状回復費用・建物明渡に関する無料電話相談会

秋の引っ越しシーズンにトラブルが増加する、賃貸住宅の敷金、原状回復費用に関する相談に司法書士が無料で応じます。

▼**とき** 10月1日㈬から30日㈭までの平日16時～18時

▼**相談方法** 電話（☎092―714―0616）

問 福岡県司法書士会事務局（☎092―722―4131）

子ども支援オフィス 無料巡回相談会

相談員が子育てや家族の悩みなどをお聞きし、解決に向けて一緒に考え、必要な支援や手続きに繋ぐなどの相談支援を行います。一人で悩まず相談ください。

▼**とき** 10月15日㈬10時30分～12時、13時～14時30分／要事前予約

▼**ところ** 添田町役場

▼**対象者** 添田町在住の人

問 福岡県自立相談支援事務所（☎44―8631）

子ども支援オフィス（☎44―8612）

日曜労働相談会

賃金のトラブル、解雇、パワハラなど職場の悩みに関する相談をお受けします。相談は無料で秘密は固く守られます。一人で抱え込まず、気軽に相談ください。

▼**とき** 11月15日㈰10時～18時（受付17時30分まで）

▼**ところ** 福岡県筑豊労働者支援事務所（飯塚市）

▼**対象者** 労働者、事業主

▼**相談方法** 電話または来所面談／予約優先

※相談内容により弁護士相談も連携して行います。

問 福岡県筑豊労働者支援事務所（☎0948―22―1149）

お知らせ

ひとり親家庭等実態調査を実施します

福岡県ひとり親世帯等実態調査は、生活実態や要望事項などの把握を目的に5年ごとに実施しています。調査の結果は、今後のひとり親家庭等福祉施策の推進を図るための資料となります。対象世帯へ調査票を送付しますので、回答へのご協力をお願いします。

▼**対象** 無作為に抽出した母子世帯3千750世帯、父子世帯2千世帯、養育者世帯500世帯

▼**調査日** 令和8年11月1日現在

▼**調査期間** 令和8年10月25日㈰～11月15日㈰

問 福岡県福祉こども政策部こども未来課（☎092―643―3257）

ありがとうございました（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ

▼**香典返し** ▽㊍祇川弘敏（上落合一）▽㊍藤下礼子（野田）▽㊍恵良久枝（添田中）▽手島英敏（添田中）▽㊍照瀬智幸（町一）▽㊍河野トシ子（町四）▽㊍坂本歳靖（新城）

（令和8年9月14日現在）

人の動き

8月末日現在（　）は前月比

●人　口	7,905人（−30人）	●出生	1人
●男　性	3,745人（−13人）	●死亡	19人
●女　性	4,160人（−17人）	●転入	9人
●世帯数	4,261世帯（+11世帯）	●転出	21人

相談

●**心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）**
10月20日㈫、11月10日㈫

●**補聴器相談（役場ロビー）**
10月19日㈪（13時～）、11月13日㈭（15時～）

●**無料法律相談会**
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
10月13日㈪、11月10日㈫
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
問 法テラス福岡（☎050-3383-5502）

●**こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）**
10月13日㈫（10時～）、10月22日㈬（14時～）
問 田川保健福祉事務所健康増進課（☎42-9307）

納期限のお知らせ

●**11月2日㈪が納期限です**
▷町県民税（3期）
▷国民健康保険税（4期）
▷後期高齢者医療保険料（4期）
※口座振替は10月26日㈪です
問 役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）

警察署からのお知らせ

●**10月11日～20日は全国地域安全運動期間です**

全国地域安全運動は、防犯協会などの地域安全に関係する機関や団体と警察が連携を強化し、地域安全活動の浸透と定着を図るものです。犯罪のない安全で安心して暮らせる社会を目指して地域で防犯活動に取り組みましょう。

7月の事故発生状況（　）内は昨年同月比

種　類	発生件数	今年の累計
物件事故	16（+6）	95
人身事故	2（−2）	9
死亡者	0（±0）	0
負傷者	2（−4）	12

問 田川警察署（☎42-0110）

福岡県最低賃金額改定

福岡県の最低賃金が改定されました。
▷金額　1時間1,114円（57円引き上げ）
▷効力発生日　令和8年10月4日
※最低賃金引き上げに伴う業務改善助成金など各種支援策の詳細は、福岡労働局のホームページを確認ください。
問 福岡労働局労働基準部（☎092-411-4578）
業務改善助成金コールセンター（☎0120-366-440）

農業委員会報告

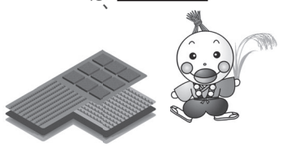
【9月10日㈭開催　総会審議結果】

▼**農地法第3条にかかる所有権の移転**
・・・1件／面積1181㎡を許可

※総会の議事録は、町ホームページで公開しています。

※11月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、10月26日㈰です。

問 添田町農業委員会（☎82―1237）



ご協力ありがとうございます

熊本地震 災害義援金募金

9月25日現在で45万4,830円の温かいご寄附をいただきました。このうち、8月27日までにお寄せいただいた31万9,450円を、8月31日に日本赤十字社へ送金しました。募金箱は10月28日まで役場1階ロビーに設置していますので、引き続きご協力をお願いします。

問 役場総務課総務係（☎82-1231）

広報 そえだ
令和8年10月号
10
2026

令和８年度

添田町職員採用試験

私たちの挑戦が
そえだの未来を創る

申込期限
令和８年11月６日（金）

試験職種、採用人数と受験資格

試験区分	採用予定人数	職務内容	受験資格 ※区分ごとにすべての要件を満たすこと
一般事務Ａ	２人程度	一般行政事務	▶平成４年４月２日から平成21年４月１日までに生まれた人
一般事務Ｂ（保健師）	２人	一般行政事務及び保健師業務	▶昭和62年４月２日以降に生まれた人 ▶保健師の資格を有する人（取得見込み含む）
一般事務Ｃ（学芸員）	１人	一般行政事務及び埋蔵文化財の発掘調査などに関する業務	▶昭和62年４月２日以降に生まれた人 ▶大学または大学院で考古学もしくは文化財学の埋蔵文化財に関する専門課程を卒業・修了した人（卒業・修了見込み含む） ▶博物館法に規定する学芸員の資格を有する人（取得見込み含む） ▶発掘調査（大学等での実習も含む）の経験を有する人

試験日程

▶第１次試験　11月21日(土)
▶第２次試験　12月12日(土)、13日(日)
※第１次試験合格者に別途お知らせします。

試験会場

▶添田町役場
田川郡添田町大字添田2151番地

申込手続き

添田町公式ホームページで確認ください

試験内容

▶第１次試験　▷職務基礎能力試験
　　▷事務適性検査
▶第２次試験　▷口述試験

勤務条件

▶給与　▷大卒232,000円
　　▷高卒200,300円
※学歴・職務経験などにより加算措置あり。
▶諸手当　▷通勤手当　▷住居手当
　▷扶養手当　▷期末・勤勉手当
　▷地域手当　など

問 役場総務課総務係（☎82-1231）

◉火災に関する情報は☎42-0119で確認ください。

UD FONT by MORISAWA ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

◇発行／添田町　◇編集／総務課
〒824-0691　福岡県田川郡添田町大字添田2151番地
☎0947-82-1231　FAX0947-82-2869
ホームページ https://www.town.soeda.fukuoka.jp

◇印刷／マツオ印刷株式会社
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です